

# 全世界株の メリット・デメリット

# 全世界株のメリット

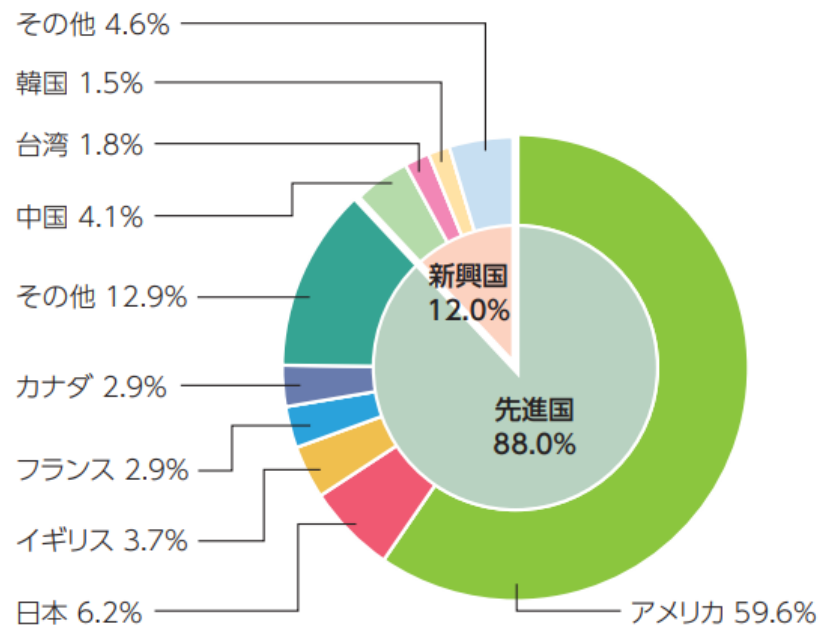


投資の最も王道である分散投資ができる

eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)

インデックス投資家にとっての  
「最適解」、「ファイナルアンサー」

<対象インデックスの国・地域別構成比率>



- 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。
- MSCI Inc.のデータを基に三菱UFJ国際投信作成(2021年9月末現在)

投信ブロガーが選ぶ! Fund of the Year 2021 投票結果 (FOY ~ 5 位)



**eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カントリー)**

(三菱UFJ国際投信 / 63名投票 / 206ポイント獲得)

**2**

**<購入・換金手数料なし> ニッセイ外国株式インデックスファンド**

(ニッセイアセットマネジメント / 30名投票 / 101ポイント獲得)

**3**

**バンガード・トータル・ワールド・ストック ETF (VT)**

(ザ・バンガード・グループ・インク / 15名投票 / 53ポイント獲得)

**4**

**eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)**

(三菱UFJ国際投信 / 20名投票 / 51ポイント獲得)

**5**

**iFree レバレッジ NASDAQ100**

(大和アセットマネジメント / 10名投票 / 37ポイント獲得)

出典:投信ブロガーが選ぶ! Fund of the Year 2021

# 全世界株のメリット

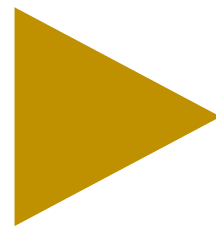
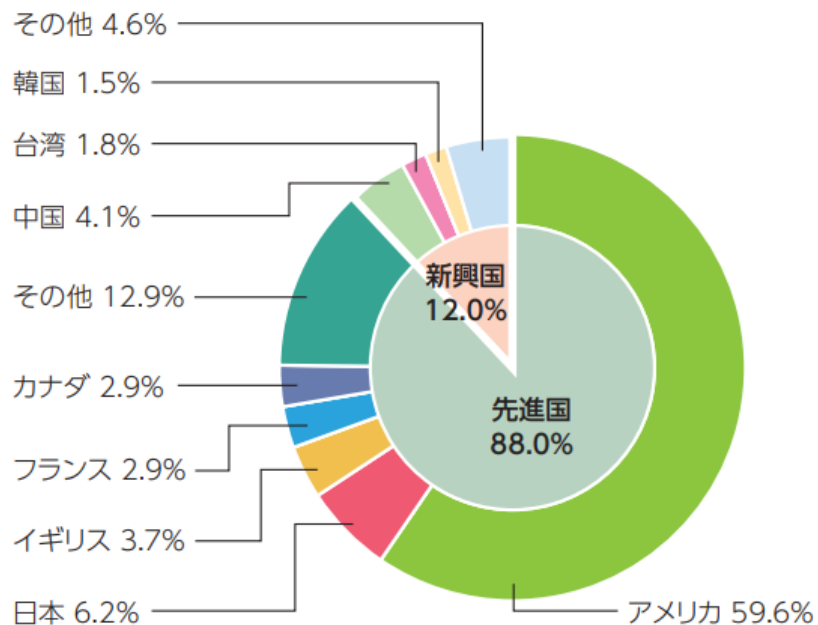


## リバランスを自動でしてくれる

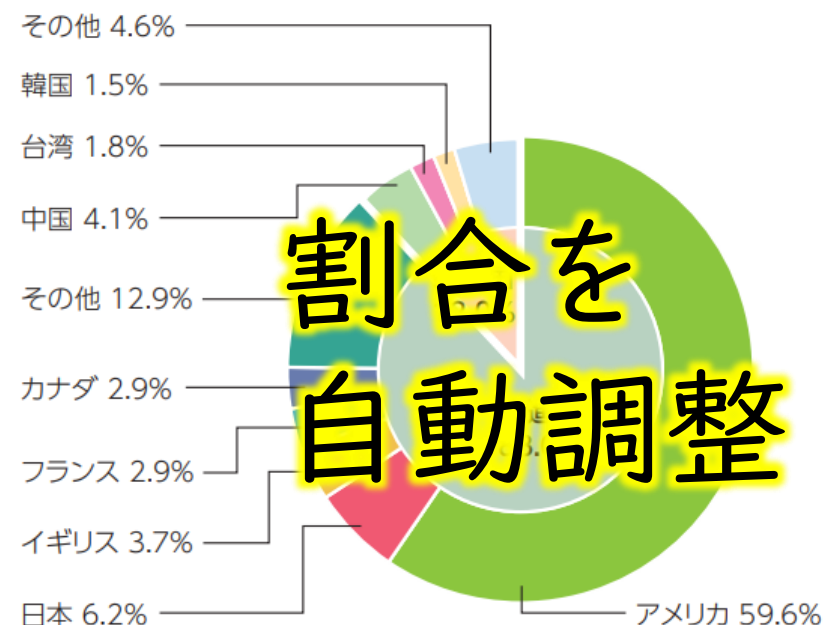
eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)

今後どの国が成長したとしても・・・

<対象インデックスの国・地域別構成比率>



<対象インデックスの国・地域別構成比率>



- 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。
- MSCI Inc.のデータを基に三菱UFJ国際投信作成(2021年9月末現在)

- 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。
- MSCI Inc.のデータを基に三菱UFJ国際投信作成(2021年9月末現在)

出典:eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー) 目論見書

# 全世界株のメリット



米国市場に振り回されなくてよい

2011年

国別分散比率 上位10カ国 (%)

|         |       |
|---------|-------|
| 米国      | 43.3% |
| 日本      | 8.4   |
| 英国      | 8.3   |
| カナダ     | 4.0   |
| フランス    | 3.9   |
| オーストラリア | 3.2   |
| スイス     | 3.2   |
| ドイツ     | 2.9   |
| 中国      | 2.2   |
| ブラジル    | 2.1   |

2021年

Ten largest market allocations as % of common stock

|                |       |
|----------------|-------|
| United States  | 60.3% |
| Japan          | 5.9   |
| United Kingdom | 3.9   |
| Canada         | 3.2   |
| China          | 3.1   |
| France         | 2.4   |
| Switzerland    | 2.4   |
| Australia      | 2.2   |
| Germany        | 2.0   |
| Taiwan         | 1.9   |

出典:VTファクトシート

# 全世界株のデメリット



過去10年は米国の方が利回り5倍以上

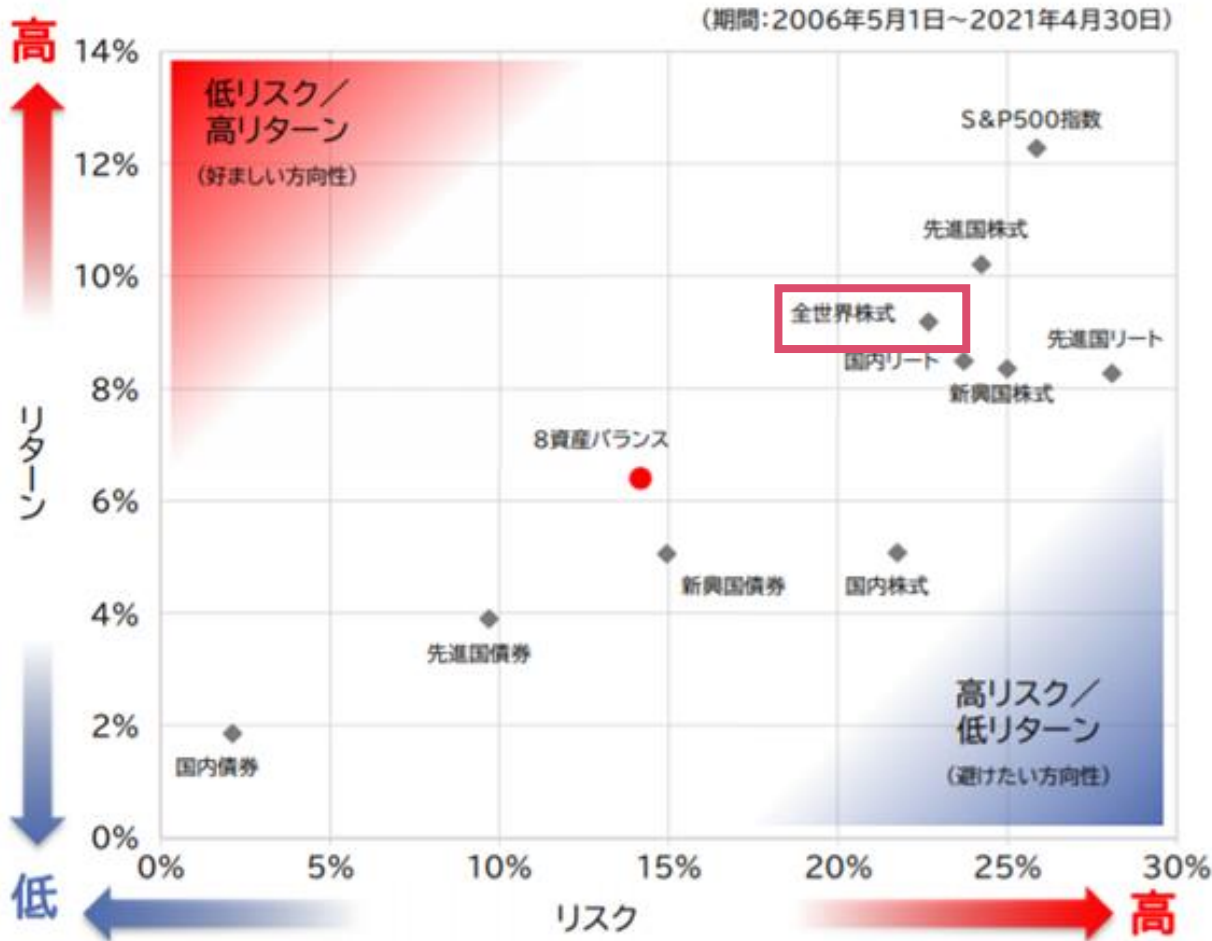


出典: 楽天証券「全世界株vs米国株～S&P500指数に死角はあるか?～」

# 全世界株のデメリット

## Point 2

成長性の低い国も含まれる（15年間のデータより）



| 各種資産     | リターン  | リスク   | 運用効率* |
|----------|-------|-------|-------|
| 国内債券     | 1.8%  | 2.1%  | 0.87  |
| S&P500指数 | 12.3% | 25.9% | 0.47  |
| 8資産バランス  | 6.4%  | 14.2% | 0.45  |
| 先進国株式    | 10.2% | 24.2% | 0.42  |
| 全世界株式    | 9.2%  | 22.7% | 0.40  |
| 先進国債券    | 3.9%  | 9.7%  | 0.40  |
| 国内リート    | 8.5%  | 23.7% | 0.36  |
| 新興国債券    | 5.1%  | 14.9% | 0.34  |
| 新興国株式    | 8.3%  | 25.0% | 0.33  |
| 先進国リート   | 8.3%  | 28.1% | 0.29  |
| 国内株式     | 5.1%  | 21.8% | 0.23  |

\* 運用効率＝リターン÷リスク

(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

出典: マネックス証券「下落相場に備える! 長期資産形成のためのポートフォリオとは」

# 全世界株のデメリット

Point  
3

米国にしておけばよかったのに・・・という声があるかも



正直、米国が最強だといったじゃないか。  
米国を信じないなんてもったいない

結局、世界の中心はアメリカ  
リターンも高いんだからアメリカでしょ??



## メリット



投資の最も王道である分散投資ができる



リバランスを自動でやってくれる



米国市場に振り回されなくてよい



過去10年は米国の方が利回り5倍以上



成長性の低い国も含まれる



米国にしておけばよかったのに・・・  
という声があるかも

## デメリット

メリット・デメリットを把握して、  
全世界株の投資信託に投資をしましょう